

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キノコにじいろクラブ

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 34人

回収数 14件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					子どもたちが体を動かしたり、個別に集中して取り組んだりするのに十分なゆとりがある空間をこれからも作っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	1		個別支援で見ていただけるので、よいと思います。	職員募集は随時行いますが、責任の大きな仕事なので、人選は慎重にしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3				町の施設を借りているため大掛かりな改修は難しいですが、必要に応じて構造化を行い、子どもたちにとって快適な環境や、子どもの発達特性に合わせて環境の調整をしていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	3				毎日清掃を徹底し、子どもたちの活動に合わせたレイアウトを工夫しています。今後も保護者のご意見を伺いながら、心地よい空間を維持・改善していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				スタッフ一同、子ども一人ひとりの特性を深く理解し、専門性を活かした支援を心がけています。定期的なスタッフ研修を強化して、よりきめ細かな対応を目指します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					これからも透明性を保ち、プログラムを定期的に見直して子どもたちのニーズに合った支援を提供します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				保護者との面談を基に、客観的な分析で計画を作成しています。分析プロセスをさらに明確にし、保護者への説明を丁寧に行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					今後も本人・家族・移行支援のバランスを保ち、具体的な内容を充実させていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				支援の進捗を定期的に保護者と共有します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	1	1		多様な活動を増やし、固定化を防ぐためのアイデアをスタッフで共有していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	2		保育所等訪問を通じて交流を促進するための支援を行い、子どもたちの社会性を育てるイベントを計画していきます。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					これからも初回利用時にわかりやすい資料を活用し、丁寧な説明に努めます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					今後も視覚的にわかりやすい方法で共有し、保護者との共通理解を深めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1				支援の中で自宅でも出来る具体的なトレーニング方法を伝えていくように努めます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1			口頭での説明や連絡ツールを活用してより頻繁な情報共有を目指します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				面談の頻度や内容を保護者のニーズに合わせて調整します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				これからも、皆さんの日常に寄り添った温かい支援を目指してまいります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	2	3		今後保護者会やイベントを周知し、参加しやすい形を目指します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			2		相談や申し入れに対して迅速丁寧に対応できるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					今後も子どもたちや保護者がわかりやすく安心できる言葉掛けを心がけ個別の特性に合わせたツールを活用します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			1		HPやSNSなど皆様に届きやすい媒体を使い分けながら発行します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					個人情報の取扱いに関してリスク管理意識を全員が持てるように共有してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4		避難訓練は年に4回実施しています。HPにも記載がありますので是非ご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3		HPにて訓練時の様子などを記載していますので是非ご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		今後も安全第一で支援を進めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			5		連絡フローを明確に周知し、迅速な説明を徹底します。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					これからも子ども達が安心して温かい環境を維持します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	3				・最初の頃は泣いてずっと抱っこだったけど、今では一人であちこち歩き回って楽しそうにして親としてもとても嬉しいです。 子どもたちに「楽しかった」「満足」と思ってもらい、モチベーションになれるように努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					・月に2.3回ですが 毎回楽しみに通わせてもらっています。わたしも、沢山話を聞いてもらい スッキリして帰らせてもらっています。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。 ・いつも支援ありがとうございます。 最初の頃とは見間違える程成長した我が子にとっても感動しています。欲を言えば、もう少し早くに通わせたら良かったと思いますが、キノコにじいるクラブさんに出会えて良かったです。これからもよろしくお願いたします。